次世代自動車の普及啓発活動を



購入補助制度などを早急に周知



たきょう 田境 毅 議員

的な取り組みを問う。 政サービスの実践」特 にインフラ整備、具体

問 の目標値は。 環境整備が課題。 燃料電池車を不自 由なく使用できる 本町

低ー基を考える。 環境経済部長▼水 素ステーション最

> けた課題は。 営費が課題である。 高額な整備費や運

本町の考え方は。 行政の率先垂範が重要。 公用車や公共バス の水素車導入など

順次更新していく。 より、次世代自動車に 町環境基本計画に 企画部長▼第2期 ということ。普及に向 らかの障害がある 現状は未設置、何

問

の仲間が必要。民間企

るためには、多く 取り組みを推進す

編成方針「次世代型行

令和4年度当初予算

答は環境経済部長▼国 業への導入助成制度創

や県も考えている。

及啓発活動、 次世代自動車の普 、取り

含め、 組みなど実施時期は。 ||| 本町の次世代自動 車購入補助制度を 早急に周知する。

アクションを **充電設備設置** の

補助を検討中 関連機器の導入

(岡崎市内)

DE SHIP LE

できるモビリティ社会 実現の取り組みを問う。 が自由に安心して移動 地域課題もある。誰も 通では補完しきれない 進される一方、公共交 交通体系の確立」が推 編成方針「新たな公共 令和4年度当初予算

水素ステ

公用車や公共バス の電動化促進は。

も電動化を検討したい。 ーボンの観点から 企画部長▼ゼロカ

急速充電装置の設 置促進は。

組みは。

小型電動車の取り

活用を促したい。 環境経済部長▼国 の導入補助制度の

究したい。

先進事例などを研 企画部長▼全国の

ション

らアクションを。 進が必要、行政か 充電設備の設置促

2H装置補助を検討中。 り組みとして、 関連機器導入の取 V



「筆柿の里・幸田」で充電中の車両

幸田町議会だより No.183 2022. 1. 26発行 12

運転免許取得可能

答 チョイソコこうた 対する移動の確保は。 の利用対象年齢の 年齢以下の町民に

見直しを検討したい。

議会改革に向けて

を重ね、議会・議員とをテーマに、17回開催



丸山千代子



黒木 -



田境 毅



伊澤 伸一



稲吉 照夫



都築 一三

自由討議トT(フリートーク)●内容は「議会だより」

●行政からの議案の審

「議員のなりて不足」

one 立案を目指していきた ●今後、FT会は政策

決定した。

会を進めていくことを

して、研究調査・研修



開催する。

タウンミーティングを見を聞く機会として、

町民の皆さまのご意

り

議員研修会を開催予

令和4年1月31日、 中稲田大学マニフェス 早稲田大学マニフェス 佐藤淳氏をお迎えし 「対話で創る議会の新 「対話で創る議会の新 「が話で創る議会の新 いカタチ」との演題

藤江

徹

地方議会の成熟度基準の事前アンケートで、 準の事前アンケートで、 議会に対する信頼の増 進などを全議員が提出 していますので、先生 の評価が楽しみです。 幸田町議会は、これからも議員のなり手不



足立 初雄



笹野 康男



杉浦あきら



廣野 房男



石原 昇



都築 幸夫



鈴木 久夫



水野千代子